

使い方マニュアル

SNS

代表的なSNSの災害時活用方法

【 Twitter 】

◆ Twitterライフライン

各都道府県ごとに「災害時に役立つアカウント一覧」を公開。災害時に居住地域の情報や公的機関等のアカウントから最新情報を確認。

◆ 「#救助」ツイート

緊急救助を求める場合は、「#救助」(位置情報をON)とともに、要請内容、写真、住所などを投稿。救助完了後は報告ツイートをした後、削除。

◆ 「#減災レポート」

災害地域のユーザーが現地状況を「#減災レポート」(位置情報をON)をつけて投稿。他ユーザーが現地の被害状況を手早く把握。

◆ Twitterモーメント

Twitterモーメントをフォローして、リアルタイムで話題になっている内容から情報を確認。

【 Facebook (災害時情報センター) 】

災害の影響を受けた地域にいると思われるユーザーに、安否を確認する通知が届く。

通知を受けて無事である場合は、 を選択、回答することで、Facebook上の友達に無事が報告される。

影響を受けた地域にいない場合は、 を選択して、自分の無事等を報告。

【LINE (LINE災害連絡サービス)】

大規模災害が発生すると、自動的にユーザーのトーク上に「LINE」公式アカウントから通知が届く。

、、 から選択して回答。回答時に追加文の入力や位置情報を付けることも可能。回答した内容はLINEのタイムラインに投稿され、自分の無事や被害状況、位置情報などがLINE上の友だちに報告される。